

事務事業名		食育推進事業			会計	一般会計						
課等名		保健課			事業種別	政策		開始	16	終了		
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり								
		施策	31	心と体の健康づくり								
目的	対象(誰・何を)	①一般市民 ②食生活改善推進員			対象指標	指標名及び単位			24年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	健康に関心を持ち、生活習慣を見直して、自分に適した食生活を理解し実践する				住民人口	人			103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合				飯田市食生活改善推進員	人			295		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	男性健康教室参加者で健康によい生活が実践できた人の割合 % (アンケート調査結果)			85	73	85	87				
	成果指標	食生活改善推進員の地域活動回数(伝達講習、子ども・親子料理教室、いきいき・高齢者教室、7ヶ月相談離乳食試食等) 回			360	369	360	370				
定性目標												
事業概要	食育推進計画の推進のため、「栄養と食生活」を重点に、年度ごとに重点項目をかかげて、具体的な実践を推進している。生活習慣病予防のために、正しい知識と実践力を身につけ、地域の仲間と地域に合った活動を展開する。											
	朝食の欠食率減少に向けた取組 第2次食育推進計画の内容として、共(郷・今日・協・供・教)食に取り組み、食事内容の充実を図りながら、市民総健康と生涯現役を目指す。											
事業内容					名称			活動指標				
24年度事業内容	1 「地域健康ケア計画2012」に基づく食育推進計画の推進				2 朝食欠食率			2 保育園 1.7%				
	2 朝食摂取状況把握調査(朝食カード)の実施				3 キッズキッチン等実施数			小学校 1.2%				
	3 多様な主体と協働し、子どもと親を対象とした食育教室の開催				4 各種活動回数と普及対象人数			中学校 7.3%				
	4 食生活改善推進協議会員による地域活動実施				5 男性健康教室参加実人数			3 4園				
	5 男性対象の食生活改善教室の開催				6 食育協力店舗数			4 369回 15,072人				
	6 域産域消の食育店と協働した啓発活動							5 38人				
	7 学校食育担当者等との連携強化							6 13店舗				
	8 第二次飯田市食育推進計画策定											
	9 内閣府 食育推進評価専門委員会											
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,949	2,585	2,247	2,690	[24特定財源](県)健康増進事業補助金(国1/3、県1/3) 485千円 [25特定財源](県)健康増進事業補助金(国1/3、県1/3) 473千円						
国庫支出金												
県支出金		477	482	485	473							
起債												
その他												
一般財源		1,472	2,103	1,762	2,217							
人件費計(千円)②		14,304		19,668								
正規職員所要時間		4,000		5,500								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		16,253	2,585	21,915	2,690							
事業内容・目標達成状況の振り返り	男性健康教室は2地区で実施した。参加人数が少ないため、今後消防団活動として位置付けてもらい、地区の状況や要望を取り入れた内容を考え、参加者の増加につなげる。 食生活改善推進協議会の活動としては、地区からの男性料理教室等の依頼が増え、活動数が増加した。											
改革改善の考え方	①問題点	・生活習慣病予防を視点とした男性健康教室の参加人数が少なく、20~30歳代の男性の朝食欠食率増加への対策を含め、多くの男性に対する食育の推進が課題である。										
	②改革提案	・男性に対する新規の講座を企画し、参加者を募るのではなく、企業・PTA等と連携して、あらゆる機会を捉え、こちらから出向き男性に対する食育の充実を図る。										